

様式第3号（第11条第2項関係）

議 事 概 要 書（案）	
第1回 玉野市水道事業審議会	
開催日時	令和7年7月28日（月曜日）10時から11時まで
開催場所	玉野市役所3階 特別会議室
出席者	玉野市水道事業審議会委員9名 高山委員、本田委員、原田委員、河村委員、小松委員、大内委員、住吉委員、田中委員、浅野委員 柴田市長 他事務局7名 岡野部長、大賀課長、相澤課長補佐、内橋主幹、塚常係長、板野係長、大塚主査
傍聴の可否	可（傍聴人数2人）
審議概要	<p>1. 開会 ・柴田市長あいさつ</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 役員選出 ・会長に高山委員、副会長に本田委員を選出</p> <p>5. 諮問 ・市長から会長へ別紙諮問書により諮問</p> <p>6. 議事 (1)水道事業決算概要について ＜資料に基づき事務局から説明＞</p> <p>＜主な質疑＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2ページの説明欄の一般会計補助金の減少とは何か。 ・令和5年度実施の水道料金減免事業に伴い、一般会計から水道事業へ充てていた補助金が令和6年度にはなくなったもの。 ・一般会計からの繰入はしているのか。 ・繰入基準に伴うもののみ繰入れしており、基準外の繰入は

していない。

- ・令和5年度からの南部水道企業団の受水費の値上げがあったということだが、何パーセントの値上げか。
- ・単価56円から67円へ約20%の値上げである。

(2)玉野市水道事業の現状について

<資料に基づき事務局から説明>

<主な質疑>

(委員) 玉野市の給水人口と行政区域内人口には違いがあるのか。

(事務局) 普及率は非常に高いため、ほぼ同じであるが多少の差はある。

(委員) 他会計繰入金とあるがこれは何か。

(事務局) 主なものとしては、石島に海底送水管を布設し、簡易水道から上水道に統合したときの借入に対する元利償還金に係る一般会計からの繰出基準内の繰入である。

(委員) 起債残高は少ないが、管路経年化率は高いということは、老朽化対策・地震対策に投資ができていなかったということか。

(事務局) 計画的に投資は行っていたものの、高度成長期の頃に布設した管の延長が長く、それに追いつくだけの布設替えができていなかったといえる。

また、今年度までは、下水道の面整備に合わせた管路更新を優先的にしていたため、耐用年数を超えた管路更新に対し集中した投資ができていなかった。

(委員) 有収率の今後の見通しは。

(事務局) 配水池の大規模な漏水修繕が完了し改善傾向にあり、令和6年度末の88.88%から現在91%程度になる予測をしている。

(委員) 表中の類似団体平均というのは何か。

(事務局) 県内ではなく、全国の玉野市と事業規模が同程度の団体の平均である。

(3)今後のスケジュールについて

<資料に基づき事務局から説明>

<主な質疑>

(委員) 次回の審議会において、料金改定率と改定時期の検討とあるが料金体系の検討も合わせてやるのか。改定率と料金体系の検討はセットでやるものではないか。

(事務局) 次回の審議会において、料金体系別で改定率がいくらになったらこうなるというような、いくつかのシミュレーションを提示したいと考えている。

(委員) 現在の料金体系はどうなっているか。

(事務局) 用途別である。また、口径によりメーター使用料があり2ヶ月で20トンまでの基本料金とそれを超えた超過料金で構成されている。また、超過料金は単価が一律である。

(委員) 次回の審議会では、直近でどうするかだけでなく、玉野市水道の5年後10年後のあるべき姿を見据えていただき、そこから今何をしなければいけないというように提示していただけると議論がやりやすいのではないか。

<その他委員からの意見・感想等>

(委員) 結果ありきの改定率を議論するのではなく、複数のシミュレーションを提示した上で、その前提・条件をイメージして、次回、前向きに議論できるように望む。

(委員) 玉野市の水道事業が持続可能であるためには、この料金が必要であるという、あるべき姿からの話であれば納得できるのではないか。

(委員) 玉野市の水道料金は安いということだが、耐震化や老朽化の経費がどこまで反映されているのかも踏まえて次回検討したい。

(委員) 納得感が出るような料金を示せるか、また安心感をどのくらい高められるかだと思う。そのためにも5年後10年後のありたい姿というのをしっかり見据えて、そのため今何をするか、この先どうしていくかという考え方で納得感が出るような案が作れるよう協力したい。

(委員) 老朽化対策としても、できていない範囲がどれくらいで5年後10年後までにはここまでやらないといけない。また、原材料費は必ず上がっていくので、それらがどうなっていくのかという中で、玉野市として水道事業を公できちんと維持できるような議論の展開になるように

	<p>望む。</p> <p>(委員) 老朽化率は毎年1年ごとに増えていくので、どのくらいあがっていくのか、また人口減少の影響などについても、次回検討できたらと思う。</p> <p>(委員) 老朽化の対策がかなり大事になってくるかと思う。今後10年間でどのくらいの計画でやっていくのか検討できたらと思う。</p> <p>(委員) 管路の耐用年数がどのようになっているのか。また玉野市の水道料金が安いのは他市と比べてどこが違って安いのか。それによっては今後ぐんと値上がりする時期が来るのではないか。生きていくために水は不可欠なのでそれが断たれることのないような取り組みを望む。</p> <p>7. 閉会</p>
特記事項	
事務局	玉野市建設部水道課（電話 0863-33-9666）